

診療科研修コース申請書
研修コース名【 **呼吸器内科** () コース 】

1. 診療科(専門領域)

呼吸器内科

2. コースの概要

臨床研修医を終了した者を対象に、内科基礎プログラム、呼吸器内科専門プログラム、呼吸器内科専門プログラムのいずれかを選択。

3. 取得資格

国立病院機構による診療認定医 () 資格
日本内科学会認定医 (初期研修施設によっては受験可能)
呼吸器学会専門医

4. 長期目標

呼吸器疾患の専門的知識を習得し、単独で呼吸器疾患の診断、治療ができる。

5. 取得手技

気管支鏡検査、胸腔ドレナーン挿入、CT ガイド下肺生検、気管内挿管。

6. 研修期間

3年

7. 募集人数

1名

8. 診療科の実績と経験目標症例数

症例数と手術件数の調査年度 <平成19年度>

主要疾患	入院数(年間)	経験目標症例数(2年間)
肺炎	134	100
気管支喘息	42	40
肺癌	36	40
間質性肺炎	18	30
閉塞性肺疾患	27	15

手術	件数(年間)	経験目標件数(3年間)
気管支鏡	94	150
胸腔ドレナーン挿入	35	30
CT ガイド下肺生検	3	4
気管内挿管	8	10

9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 3 名、非常勤 2 名

診療科研修の指導にあたる医師 3 名

主として研修指導にあたる医師の氏名 日高 孝子

” 診療科経験年数 18 年

10. コンセプト

- ・内科臨床を行う上で必要と思われる呼吸器疾患に習熟し、日常の診療に応用できる臨床医の育成。

11. 一般目標

- ・呼吸器専門の疾患の臨床研修を通して、患者さんの病態を多角的に把握することができるようにする。
- ・医療安全を意識した臨床研修の実践。
- ・医師単独で適切な患者対応や治療計画が立てられる。

12. 関連領域の研修に関して

施設内での研修

場合によっては可能

施設外との交流研修

場合によっては可能

研修領域の決定

本人と意向を研修責任者が聴取し、相談のうえ決定

13. 共通領域研修について

内科合同症例検討会

診療科研修プログラム申請書
研修プログラム名【 内科基礎プログラム 】

1. 診療科（専門領域）

内科

2. 研修期間

1年

3. 募集人数

1名

4. 短期目標

内科各分野を各専門領域の指導医の元で研修することにより、総合的な診療能力を高める。

5. 短期取得手技

内科一般の診断・治療手技の習得。

6. 診療科の実績と目標症例数

症例数と手術件数の調査年度 <平成19年度>

主要疾患	入院数（年間）	目標症例数（1年間）
内分泌代謝疾患	400	20
肝疾患	400	15
消化器疾患	300	15
呼吸器疾患	400	15
血液疾患	100	5
心療内科疾患	10	3
循環器疾患	150	10
その他	150	10

手術	件数（年間）	目標件数（年間）

7. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 3 名、非常勤 2 名

診療科研修の指導にあたる医師 3 名

主として研修指導にあたる医師の氏名 日高 孝子
" 診療科経験年数 18 年

8. コンセプト

専門領域とその関連領域を系統的に研修することで、将来どの領域を専攻するにあたっても必要な基本的内科診療能力を身につける。

9. 共通領域研修について

内科合同症例検討会

診療科研修プログラム申請書
研修プログラム名【 **呼吸器内科専門プログラム** 】

1. 診療科（専門領域）

呼吸器内科

2. 研修期間

1年

3. 募集人数

1名

4. 短期目標

呼吸器疾患の専門的知識を習得する。

5. 短期取得手技

気管支鏡、胸腔ドレーン挿入、気管内挿入手技、CTガイド下肺生検。

6. 診療科の実績と目標症例数

症例数と手術件数の調査年度 <平成19年度>

主要疾患	入院数（年間）	目標症例数（1年間）
肺炎	134	50
気管支喘息	42	20
肺癌	36	20
間質性肺炎	18	15
閉塞性肺疾患	27	10

手術	件数（年間）	目標件数（1年間）
気管支鏡	94	50
胸腔ドレーン挿入	35	20
気管内挿管	20	3
CTガイド下肺生検	10	1

7. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 3 名、非常勤 2 名

診療科研修の指導にあたる医師 3 名

主として研修指導にあたる医師の氏名 日高 孝子
" 診療科経験年数 18 年

8. コンセプト

- ・専門領域の研修を通して、幅広い視野を養う。
- ・他の専門領域を選択する場合にも、日常の臨床において患者さんの多彩な病態に柔軟に対応できる。

9. 共通領域研修について

内科合同症例検討会

診療科研修プログラム申請書
研修プログラム名【 **呼吸器内科専門プログラム** 】

1. 診療科（専門領域）

呼吸器内科

2. 研修期間

1年

3. 募集人数

1名

4. 短期目標

・呼吸器内科疾患の患者さんの診断、治療が単独でできる。

5. 短期取得手技

気管支鏡、胸腔ドレーン挿入、気管内挿入手技、CT ガイド下肺生検。

6. 診療科の実績と目標症例数

症例数と手術件数の調査年度

主要疾患	入院数（年間）	目標症例数（1年間）
肺炎	134	50
気管支喘息	42	20
肺癌	36	20
間質性肺炎	18	15
閉塞性肺疾患	27	10

手術	件数（年間）	目標件数（1年間）
気管支鏡	94	50
胸腔ドレーン挿入	35	15
気管内挿管	3	3
CT ガイド下肺生検	8	2

7. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 3 名、非常勤 2 名

診療科研修の指導にあたる医師 3 名

主として研修指導にあたる医師の氏名 日高 孝子
" 診療科経験年数 18 年

8. コンセプト

- ・専門領域の研修を通して、幅広い視野を養う。
- ・他の専門領域を選択する場合にも、日常の臨床において患者さんの多彩な病態に柔軟に対応できる。

9. 共通領域研修について

内科合同症例検討会